



はじめに ONTAP Mediator

NetApp
October 19, 2026

目次

はじめに	1
ONTAP Mediatorについて学ぶ	1
ONTAP Mediatorの仕組み	1
ONTAP Mediatorサービス	1
システム管理者向けのツール	1
SCSTとカーネルのアップデート	2
HTTPSおよびiSCSIのサポート	2
ONTAP Mediatorのクイックスタート	2
次の手順	3

はじめに

ONTAP Mediatorについて学ぶ

ONTAP Mediatorは、高可用性（HA）メタデータ用の永続的でフェンスされたストアの提供、クォーラム決定を支援する同期ノードヘルスクエリ機能、およびコントローラの稼働状況を確認するためのpingプロキシとして機能することにより、ONTAPの機能をサポートします。



このドキュメントは、オンプレミス版のONTAP Mediatorについて説明しています。ONTAP 9.17.1以降で利用可能なONTAP Cloud Mediatorの詳細については、"[SnapMirror アクティブ同期のドキュメント](#)"を参照してください。

ONTAP Mediatorの仕組み

ONTAP Mediatorは、ONTAPクラスタとは別の第3の障害ドメインにあるLinuxホスト上で実行され、HAメタデータ用の永続的でフェンスされたストアを提供します。ONTAPは、このストアをMediatorのノードヘルス照会およびpingプロキシ機能とともに使用して、SnapMirrorアクティブ同期関係とMetroCluster IP構成を監視します。

- ONTAP Mediatorは、ノード管理LIFとクラスタ管理LIFを使用して、複数の冗長なパスを介して各クラスタと通信します。これにより、ONTAPは完全なサイト障害と単一のInterSwitchリンク（ISL）障害を区別できるようになります。
- SnapMirrorアクティブ同期では、クラスタがピアとONTAPメディエーターの両方への接続を失った場合、ONTAPはピアを到達不能として扱い、残っているコピーに自動的にフェイルオーバーできます。
- MetroCluster IP構成では、ONTAP Mediatorは、MetroClusterノードの状態情報を保存し、障害発生時に適切な対応策を決定するのを支援することで、Mediator支援の自動計画外スイッチオーバー（MAUSO）を支援します。

ONTAP Mediatorサービス

ONTAP Mediator は、次の 2 つの追加の `systemctl` サービスを提供します。

- **`ontap_mediator.service`**

ONTAP 関係を管理するための REST API サーバーを管理します。

- **`mediator-scst.service`**

iSCSIモジュール（SCST）の起動とシャットダウンを制御します。

システム管理者向けのツール

システム管理者向けのツールは以下のとおりです。

- **`/usr/local/bin/mediator_change_password`**

現在のAPIユーザ名とパスワードが提供された場合に、新しいAPIパスワードを設定します。

- `/usr/local/bin/mediator_change_user`

現在のAPIユーザ名とパスワードが提供された場合に、新しいAPIユーザ名を設定します。

- `/usr/local/bin/mediator_generate_support_bundle`

NetAppカスタマーサポートとのやり取りに必要なすべての有用なサポート情報を含むローカルtgzファイルを生成します。これには、アプリケーション構成、ログ、および一部のシステム情報が含まれます。バンドルはローカルディスク上に生成され、必要に応じて手動で転送できます。保存場所
: /opt/netapp/data/support_bundles/

- `/usr/local/bin/uninstall_ontap_mediator`

ONTAP MediatorパッケージとSCSTカーネル モジュールを削除します。すべての設定、ログ、およびメールボックス データが削除されます。

- `/usr/local/bin/mediator_unlock_user`

認証の最大試行回数を超えたAPIユーザ アカウントに対し、ロックアウトを解除します。この機能は、総当たり攻撃によるパスワードの漏えいを防ぐために使用されます。ユーザには、正しいユーザ名とパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

- `/usr/local/bin/mediator_add_user`

(サポートのみ) インストール時にAPIユーザを追加します。

SCSTとカーネルのアップデート

ONTAP Mediatorは、SCSTを使用してMetroCluster IP構成での通信用にiSCSIを提供します。SCSTパッケージは、インストール時にコンパイルされるカーネルモジュールです。カーネルの更新後に、SCSTの再インストールが必要になる場合があります。または、ONTAP Mediatorをアンインストールしてから、再インストールしてONTAP関係を再設定します。SCSTの詳細については、"[SCST：Linux向け汎用SCSIターゲットサブシステム](#)"を参照してください。



サーバOSカーネルの更新は、ONTAPのメンテナンスウィンドウと調整する必要があります。

HTTPSおよびiSCSIのサポート

ONTAP 9.19.1 および ONTAP Mediator 1.12 以降では、HTTPS または iSCSI を使用して MetroCluster IP 構成を監視する ONTAP Mediator を設定できます。iSCSI と HTTPS の両方をサポートする ONTAP Mediator をインストールするか、HTTPS のみをサポートする ONTAP Mediator をインストールするかを選択できます。ONTAP Mediator が HTTPS のみをサポートするようにインストールされている場合、SCST パッケージはインストールされません。詳細については、"[ONTAP MediatorのHTTPSおよびiSCSIインストールオプション](#)"を参照してください。

ONTAP Mediatorのクイックスタート

ONTAP Mediatorの使用を開始するには、ソフトウェアをインストールし、ONTAP環境と連携するように設定します。

1

ONTAP Mediatorのインストール

システム上で["ONTAPメディアーターをインストールする"](#)を実行し、必要な依存関係がすべて満たされていることを確認してください。

2

ONTAP Mediatorのインストールを確認する

["ONTAP Mediatorのインストールが成功したことを確認します"](#)サービスの状態を確認し、ログを調べてエラーや警告がないか確認します。

3

お客様のONTAP環境向けにONTAP Mediatorを設定する

["MetroCluster IP、SnapMirrorアクティブ同期、またはその両方でONTAPメディアーターを使用する"](#)するかどうかに応じて、必要な設定がすべて正しく適用されるように、適切な設定手順に従ってください。

次の手順

ONTAP Mediatorを使用して、MetroCluster IP構成、SnapMirrorアクティブ同期構成、またはその両方を監視できるようになりました。詳細については、["SnapMirrorアクティブ同期のドキュメント"](#)および["MetroClusterのドキュメント"](#)を参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。